



気仙沼市観光キャラクター
「海の子 ホヤぼーや」

気仙沼市 社協だより

編集
発行

社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会

《公式ウェブサイト》 気仙沼市社協 <http://keshakyo.web.fc2.com/>
ボランティアセンター <http://svc.miyagi.jp/dvc/hp/kesennuma>

唐桑支所 ◆ 気仙沼市唐桑町石浜282番地3〈唐桑保健福祉センター「燦さん館」内〉
TEL 0226-31-2051 / FAX 0226-31-2052
E-mail: karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp

本 所 ◆ 気仙沼市東新城二丁目1番2
TEL 0226-22-0709 / FAX 0226-22-4467
E-mail: keshakyo@watch.ocn.ne.jp

本吉支所 ◆ 気仙沼市本吉町津谷館岡51番地6
TEL 0226-42-2231 / FAX 0226-42-1241
E-mail: moto-sha@kind.ocn.ne.jp



10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に始まりました。今年も皆さまのあ

たたかいご支援
とご協力をお願いいたします。



赤い羽根
共同募金

10月1日 ▶ 12月31日

ほんの小さなやさしさが広がる 大きな支援の輪



気仙沼市社協

敬老作文 最優秀賞

じいちゃんにおてがみ

新城小学校一年 西城結翔

じいちゃんがしんじやって
から、いろいろなことにちよ
うせんしたよ。

たくさんのひとにおいわい
してもらって、7さいになっ
たよ。おおきなさむらいのれ
ごをかってもらったよ。

はじめてのうんどうかいが
あったよ。かけっこがなばっ
たよ。おうえんがっせんたの
しかった。みてたかなあ。

なつやすみから、めがねを
してるよ。くろいめがねを
かったよ。にあうでしょ。

ようちえんのなつまつりに
いったよ。ばすにものつた。
おともだちともあそんだよ。
おみやげももらったよ。

気仙沼市社協では、九月九日に敬老作文コンクール審査会を開催しました。

小学校一年生から六年生までを対象とし、全作品数百五十
三編、応募作品は市内十七校から六十三編。審査の結果、最
優秀賞に六編(各学年一編)、優秀賞に十八編(各学年三編)の
作品が選ばれました。今号では、最優秀賞作品をご紹介します。

るよ。おもちを20こひろった
よ。だいひょうでおおきなお
もち1つとつたよ。あたらし
いおうちたのしみだね。

みなとまつりではまらいん
やおどったよ。びんくのふく
をきて、ままとおどった。つ
かれたけどたのしかった。
また、てがみかきます。う
えからみてね。

じいちゃんといっしょに行つたよ

階上小学校二年 小松大祐

「大祐、じいちゃんといっしょ
さ行くが。」

と、じいちゃんにさそわれま
した。

「うん、行く行く。」
ほくは、うれしくなつてそう

です。おもりと、ポケモンの
さおと、魚を入れるふくろを
もつて出ばつしました。

海について、じいちゃんが
ふねにのせてくれました。十
分くらいすんだとき、
「今日は、ごごでつっぺ。」

と、じいちゃんが言いました。
ほくは、わくわくしました。
そうしたら、じいちゃんが、
「大祐、海をのぞくなよ。あ
ぶねえぞ。」

と、ちゅういしてくれました。
ほくは、
「はい。」

と言って、はりにえさをつけ
ました。ほいくしよのときに、
じいちゃんからえさのつけか
たを教えてもらったから一人
でつけられます。なげかたも
教えてもらいました。「さおを
うしろに下げて、ゴルフみた

いにビュツとなげてから、
まっすくにもどす。」と教えら
れたので、その通りにやりま
した。少ししたら、ピュンピュ
ンと二回さおの先がうごきま
した。

「よし、来た！しずがにひつ
ぱれ。」

と、じいちゃんが言いました。
ほくは、しんちようにリール
をまきました。

「すごいぞ、大祐。ネウがつ
れだ。」

と、じいちゃんがうれしそう
に言いました。
「やったあ！」

と、ほくもさけびました。
三びきつって家に帰ったら、
ばあちゃんが、

「すごいね、大祐。つりっこ
上手だ。」

と言って、魚をやいてくれま
した。家ぞくでおいしくたべ
ました。つり名人のじいちゃ
んとまたつりに行きたいです。
おねがいます。

ぴいちゃんにもらったえ顔

九条小学校三年 武田美空

わたしのぴいちゃんは九十さいです。去年から気仙沼でいっしょにくらしている、せんまやのひいおばあちゃんです。少し前まではとても元気だったのですが、去年、ひいおじいちゃんがなくなっから、少しびょう気にかかってしまいました。

ぴいちゃんは、毎朝わたしが学校に行く時、「行つてらっしゃい」と、え顔で見おくとくれます。それを聞くと、今日も一日がんばろうと、気が入ります。ぴいちゃんはいつもニコニコしているの、わたしがちよつと落ちこんで元気がない時も、ぴいちゃんと話をすると、え顔になれます。

五年前の大しんさいの時、わたしたち家ぞくは、せんま

た。せんまやですごしたぴいちゃんとの時間は、わたしにとつて、とても幸せな時間でした。だから、ぴいちゃんかびょう気になったと聞いた時、つらい時にわたしをえ顔にしてくれたお返しに、今度はわたしかびいちゃんか顔をどう見てあげようと思ひました。

この前は、おふろで、ぴいちゃんかせなかをあらつてあげました。小さいせなかでした。ゆぶねの中でいっばいお話もしました。五年前のせんまやでの生活を思ひ出して、なつかしい感じがしました。

これからも、ぴいちゃんかとなりで、いつもわらつていてあげたいです。ぴいちゃんかずっと元気でいられるように、いっばいお手伝ひもしてあげたいです。ずっとずっと長生きしてほしいです。そして、いつかわたしも、ぴいちゃんかのようにだれかをえ顔にしてあげられる大人になれるようにがんばりたいと思ひます。

と、やさしいえ顔で言つてくれて、わたしはその顔を見たりしゅん間、あん心して、なみだが出てきたのをおほえています。それからの八カ月間は、ぴいちゃんか色んな事をしました。畑に行つてトマトやキウウリを取つたり、ざつ草取りもしました。夕はんのお買い物もいっしょに行きまし

優秀賞

- はやくかえつてねおばあちゃん 面瀬小二年 高橋 結春
- だいすきなおつぴばあちゃん 階上小二年 三浦 璃海
- おじいちゃんはりようしさん 大島小一年 小山 蒼大
- わたしのおばあちゃん 鹿折小二年 村上 桃菜
- わたしのじいちゃん 面瀬小二年 安部 琴音
- おじいちゃんとおばあちゃんのこと 大島小二年 小松 乃彩
- わたしのひいじいちゃん 松若小三年 新沼 未桜
- 空にかがやくおじいちゃんか星 面瀬小三年 藤田真里奈
- ぼくのおばあちゃん 階上小三年 小野寺一照
- ありがとう、長生きしてね！ 月立小四年 尾形菜々海
- おじいちゃん、ありがとう 大島小四年 千葉 穂花
- 大切なおじいさんとおばあさん 大谷小四年 阿部 彩和
- ばあちゃんからのプレゼント 水梨小五年 阿部 温子
- 祖母達から教えてもらった大切なこと 面瀬小五年 小野寺紀香
- 海で働くじいちゃん 唐桑小五年 小松 椎那
- ひいおばあちゃん 鹿折小六年 青柳 花怜
- ばあちゃん、大好きだよ 唐桑小六年 太田 圭翼
- 毎日の幸せ大好きなおばあちゃん 大谷小六年 橋 新

ぼくのびいちゃん

九条小学校四年 横山 智哉

ぼくのびいちゃんは、大正生まれで来月九十五さいになります。少し耳は聞こえないけど、自分の事は全部自分でやっています。すごいと思います。ぼくは、ひいじいちゃんを

びいちゃんと呼んでいます。

ぼくは、地しんの後からび

いちゃん、わかいころ、せんそうに行つて来たことをよく話します。北海道よりもっと上の方にある島に行つて、冬はなだれでうまつたり、夏はチフスという病気になつたり、食べる物がなくなつたり何度も死にそうになつたそうです。びいちゃんは、「せんそうはすごく辛いものだから、ぜつたいにやつてはだめだ。」

と何回も言います。びいちゃんは、せんそうに行つた時に使つたポコポコになつた水と



くさん大変なことがあつたらだと思つけど、地しんの時

もとても落ち着いていました。「昔は電気がなかつたし風呂に入らなくても死なないから大丈夫だ。」

と、びいちゃんは言つてぼくは寒かつたし地しんもこわかつたけど、びいちゃんときストープにあたつているととても安心できました。

津波で、ぼくのおんちゃんが死んだとわかつた時、びいちゃんはまきストープにあたりながら泣いていました。ぼくはよく分からなかつたけど、とてもびいちゃんが心配になつたし、早く元気になつてほしくてまきストープにいっしょにあたりました。

二人のじいちゃんばあちゃん

小原木小学校五年 中村 一三郎

びいちゃんは、とても働いています。竹を使つてかごを作っています。家の後ろの山から竹を取つてきて、自分で竹を

わたしには、じいちゃんとばあちゃんが二人ずついます。お母さんの実家のじいちゃん

わつてかごをあんでいきます。びいちゃんは小さいかごや、

サツとさばくと、切り口がス

本当においしくて、ごはんが
いらないくらいです。それか
ら、大きな魚焼き機で焼いた
サンマも大好きです。皮がパ
リツとしていて、身はあまく
て、最高です。

じいちゃんは、いつも朝早
く起きて市場に行き、魚を
買ってきます。昔は配達の仕事
もしていました。年をとった
のでやめました。でも、やめて
いいこともあります。

それは、いっぱいじいちゃん
と遊べるからです。じいちゃん
はいつも、わたしと妹といっ
ぱい遊んでくれます。一番楽
しいのは、かくれんぼをする
ことです。

お父さんのじいちゃんは昔、
漁師をしていました。じい
ちゃんは年をとって手がふる
えるけど、とてもおいしい夕
顔ののれを作ります。わた
しが、

「夕顔食べたい。教えて。」
とたのむと、いっしょに作っ

てくれました。わたしがまち
がっても否定しないで、次の
やり方を教えてくれるので、
楽しく作れます。

お父さんのばあちゃんは、
運動会や体育祭などの時応え
んに来てくれて、終わったら、
「がんばったなあ。」

とほめてくれます。近所の人
にも、

「ところが水泳大会で賞状も
らったんだ。」

などと言います。わたしはは
ずかしくて、どんな顔をした
らよいか分からなくなります。
でも、よっぽどうれいんだ
ろうなあと思います。

わたしは、友達に、

「こころちゃんちのじいちゃ
んばあちゃんってやさしいよ
ね。」

と言われると、とってもうれ
しいです。わたしは、そうい
うじいちゃんばあちゃんがい
て幸せだなあと思います。

わたしは、最近気づいたこ

とがあります。それは、じい
ちゃんばあちゃんが二人ずつ
元気にそろっている家は、あ
まりいないということです。
ちがう家に住んでいることも
あります。わたしは、近くに
いる分、じいちゃんばあちゃ
んたちに優しくしたいです。
今までは、行事の時にお母さ
んが声をかけていたけど、こ
れからはわたしが直接呼びた
いです。きつと、喜んでくれ
るだろうな。そうしたら、わ
たしもつとがんばれる気が
します。



◆◆ 平成28年 敬老作文講評 ◆◆

市社協では、敬老の日を迎えるに当たって高齢者への
尊敬や感謝、いたわりの気持ちや心のふれあいなどを通
し、児童が高齢者に対する理解を深めながら敬老の心を
培うことを目的とした敬老作文コンクールを行い、市内
17の小学校より63点のご応募を頂きました。

元教員、福祉関係者など9名の審査員による厳正なる
審査によって、各学年最優秀賞1点、優秀賞3点が選ば
れました。

【講評】

1・2年生…作品を通して、日常の様子がよく書かれて
いる。読み手が興味を持つような書き方や
映像が浮かび上がるような作品が多く、表
現力の素晴らしさに驚いた。

3・4年生…洞察力が素晴らしい。祖父母を客観的に見
ており、家庭での様子や祖父母の役割、位
置が分かる。また、生活を通して様々な知
恵などを教えており、親とは違う何かを孫
に与えていると感じた。

5・6年生…祖父母を敬い、「いつまでも長生きしてほ
しい」という気持ちがうまく表現されてい
る。また、祖父母が応援してくれているこ
とに自分なりに応えようとしている様子が
伝わる作品が多かった。

来年もまた、心温まる多くの作品と出会えることを楽
しみにしています。

おじいちゃんとの約束

面瀬小学校六年 阿部 優聖

ぼくは、おじいちゃんの事が大好きです。

東日本大震災があった日、ぼく達兄弟は面瀬中学校に避難していました。あたりは暗くなり、雪が降って寒かった事を覚えています。お母さんと連絡がとれた後、おじいちゃんがぼく達兄弟の名前を大きな声で呼びながら迎えに来てくれました。おじいちゃんの顔を見た時、うれしかったです。

震災後、お父さんは福岡へ転勤になったけど、ぼく達は気仙沼に残る事にしました。おじいちゃんは、ぼく達兄弟が寂しくないようにと、色々な所へ連れて行ってくれました。

ぼくがサッカーを始めると、「ガンバレよ。」と、スパイクや練習着を何度も買ってくれました。

ぼくが、三年生の冬におじ

いちゃんに病気がみつかりました。何度か入院を繰り返して、四年生のゴールデンウィークに、家族みんな十五人で旅行にも行きました。みんなそろって旅行に行くのは初めてだったので、うれしかったし、とても楽しかったです。

旅行から帰って来て、すぐに入院し、手術をしました。手術後、おじいちゃんのお見舞いに行くと、ちょっと小さく見えました。その後も何度も入院を繰り返して、お見舞いに行くと、「ジュース飲むか？」

「これで何か買ってもらえ。」と、おこづかいをもらいました。

五年生の秋には、小さくなったおじいちゃんは、もつと小さくなり、声をかけても寝ている事も多くなりました。起きてみると、ぼくの手を強

くにぎり、

「優聖、いいか。何事も最後まであきらめない!!やる前から、無理と決めつけたり、途中であきらめたりするな!!何事も最後までやりとげろ。いいじは、そばでいつも見ているかららな。」

と言っていました。その冬に、おじいちゃんは亡くなりました。病気をしてつらかったり、いたい時もあつたと思うけど、そんな姿を見る事はありませんでした。おじいちゃんは、最後までがんばっていました。サッカーの試合がある時、ぼくはおじいちゃんの写真を見て、

「がんばるから、応援して。」

と言います。約束をした、最後まであきらめないでがんばる事。そして、ぼく自身が後悔しないためにもがんばる事を忘れない。がんばるぼくを、おじいちゃんが見てくれるから、よろこんでくれるから、ぼくはがんばります。

唐桑地区福祉まつり

日時 11月13日(日) 開場 9:00 ステージ 9:30

場所 唐桑保健福祉センター「燦さん館」





『手話入門講座』参加者募集

初心者を対象とした手話技術を学び、聴覚障がい者への理解を深めるための講座を開催します。



日時 全3回コースとなります

《1回目》10月15日(土) 10:00~12:00

《2回目》10月30日(日) 10:00~12:00

《3回目》11月 6日(日) 10:00~14:00

※3回目は、宮城県手話通訳問題研究会行事と手話ボランティアフォローアップ研修とのコラボ企画です。

会場 気仙沼市社会福祉協議会 本所 (市内東新城二丁目1-2)

- ◆対象 原則として気仙沼市内在住の方で、初めて手話を学ぶ方
※全3回すべてに参加できること。
- ◆定員 20名(先着順)
- ◆参加費 無料。ただし、3回目のみ昼食代として500円をいただきます。

- ◆申込み 電話、ファックスまたは電子メールで10月7日(金)まで、お申込みください。
- ◆お申込み・お問合せ
気仙沼市社会福祉協議会
電話 22-0709 ファックス 22-4467
電子メール keshakyo@watch.ocn.ne.jp

老人福祉センター「福寿荘」介護予防事業

健康貯筋トク・とく講座 XII 参加者募集!

1年ごとに歳は増えるものの、体力・筋力は減るばかり。そこで、老人福祉センター「福寿荘」では、1年間を通して健康貯筋の講座を開催しています。

11月から12月までの講座内容をお知らせします。

対象者：60歳以上の方ならどなたでも
参加費：100円
お申込み・老人福祉センター「福寿荘」
お問合せ：電話23-1022
※会場や持ち物なども、お申込みの際にご確認ください。

開催予定日	内 容	講 師
11/10・17・24 12/1 (木曜日)	未 定 (10:30~12:00)	未 定
12/5・12・19・26 (月曜日)	シニア向けヨーガ (10:30~12:00)	千葉瑠美子 先生 (YOGAフィットネスインストラクター)

弁護士による 法律相談について

本会では、弁護士による無料法律相談を次のとおり実施いたします。

相談をご希望の方は、事前に電話でお申し込みください。

【日 時】 平成28年11月17日(木) 10:00~15:00

【お申込み】

【場 所】 気仙沼市社会福祉協議会 (市内東新城2-1-2)

電話 22-0709

生活福祉資金貸付制度のご案内

本会では、低所得者世帯(東日本大震災での被災世帯も含まれます)、障がい者世帯及び高齢者世帯に対し、宮城県社会福祉協議会の委託により、様々な利用目的に応じた資金の貸付相談を行っています。

無利子または低利子での貸付と必要な相談支援により、経済的自立や生活意欲の助長促進を図ることを目的とした制度です。申込みにあたっては、一定の要件がありますが、お気軽に本会または地区の民生委員児童委員にご相談下さい。

お申込み・お問合せ

気仙沼市社会福祉協議会
(市内東新城2-1-2)

貸付相談専用電話
080-5949-7563

(祝日を除く月~金曜日
午前9時~午後5時)

7

「心配ごと」
「困りごと」の相談は…

・ふれあい相談センター【場所・市社会福祉協議会本所】
電話22-0709(月・火・水・金・9時~15時)でお受けしております。(祝日はお休み)



気仙沼市共同募金委員会から市民のみなさんへ

赤い羽根
共同募金赤い羽根共同募金運動が
10月1日スタートします!

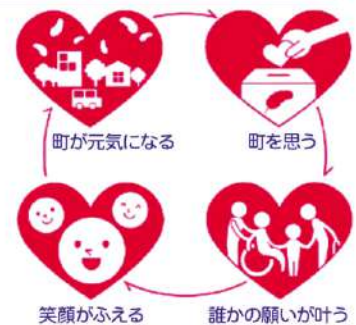
10月1日▶12月31日

みんなのまちをみんなですくすくするために

10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に始まりました。
今年も皆さまのあたたかいご支援とご協力をお願いいたします。気仙沼市内における今年の赤い羽根募金の目標額は **9,000,000円** です

地域のコミュニティづくりの大きな支えとなっています

共同募金は、だれもが安心して暮らせる「まちづくり」を進めるために必要な、住民団体やボランティア等による地域福祉活動を支援します。



平成27年度「赤い羽根募金」運動の実績報告

大変な状況のなか、皆さんからたくさんの善意をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。
(平成27年度の募金は、宮城県共同募金会が取りまとめた後、県内全体及び気仙沼市共同募金会へ配分されます。)

赤い羽根 募金総額 9,085,404円

内訳	毎戸募金 7,006,342円	街頭募金 616,438円
	学校募金 107,713円	職域募金 11,212円
	個人募金 10,772円	法人募金 30,889円
	イベント募金 51,246円	その他 1,250,792円

平成27年度に寄せられた募金を基に、平成28年度は気仙沼市内へ下記のとおり配分されました。

【町内会活動支援事業配分】

団体名	配分額(円)	配分事業内容	団体名	配分額(円)	配分事業内容
九条一区自治会	250,000	投光器付発電機	中郷区振興会	170,000	発電機
大浦自治会	250,000	投光器付発電機	登米沢区振興会	170,000	発電機
鶴巻自治会	250,000	投光機付発電機	森前林自治会	170,000	災害・行事用テント
田尻友和会	200,000	投光器付発電機	南郷一区自治会	170,000	災害・行事用テント
三峰自治会	200,000	投光器付発電機	早稲谷自治会	170,000	災害・行事用テント
新町二区自治会	200,000	投光機付発電機	古町四区自治会	230,000	大規模災害避難用具
梶ヶ浦自治会	170,000	発電機	大沢自治会	230,000	大規模災害対応資機材

【地域福祉活動配分】

団体名	配分額(円)	配分内容
社会福祉法人 気仙沼市 社会福祉協議会	4,398,384	地域福祉活動事業費(小地域福祉活動助成、ふれあい交流事業、敬老作文、福祉教育活動費補助金交付、ボランティア養成講座、社協だよりの発行、火災見舞など)



赤い羽根共同募金

気仙沼市共同募金委員会 (☎22-0709 気仙沼市社会福祉協議会内)

ご意見・ご感想など、お待ちしております。

TEL 0226-22-0709 / FAX 0226-22-4467 E-mail : keshakyo@watch.ocn.ne.jp

介護サービス情報公表システム <http://www.kaigokensaku.jp/>

この広報紙は「赤い羽根」共同募金の配分によって作成しました。